

「宇都宮市新最終処分場（仮称）第2エコパーク施設整備基本計画」概要版

第1章 計画の概要

1 策定の目的

「宇都宮市一般廃棄物処理施設基本構想」（平成25年3月策定）に基づき、エコパーク板戸に代わる新最終処分場（以下「（仮称）第2エコパーク」という。）の整備に向け、施設の規模や配置、環境保全計画等を定め、計画的な施設整備の推進に資するもの

2 計画の位置づけ

（仮称）第2エコパークに係る施設概要等を明らかにした「宇都宮市一般廃棄物処理施設基本構想」を具体化するための計画

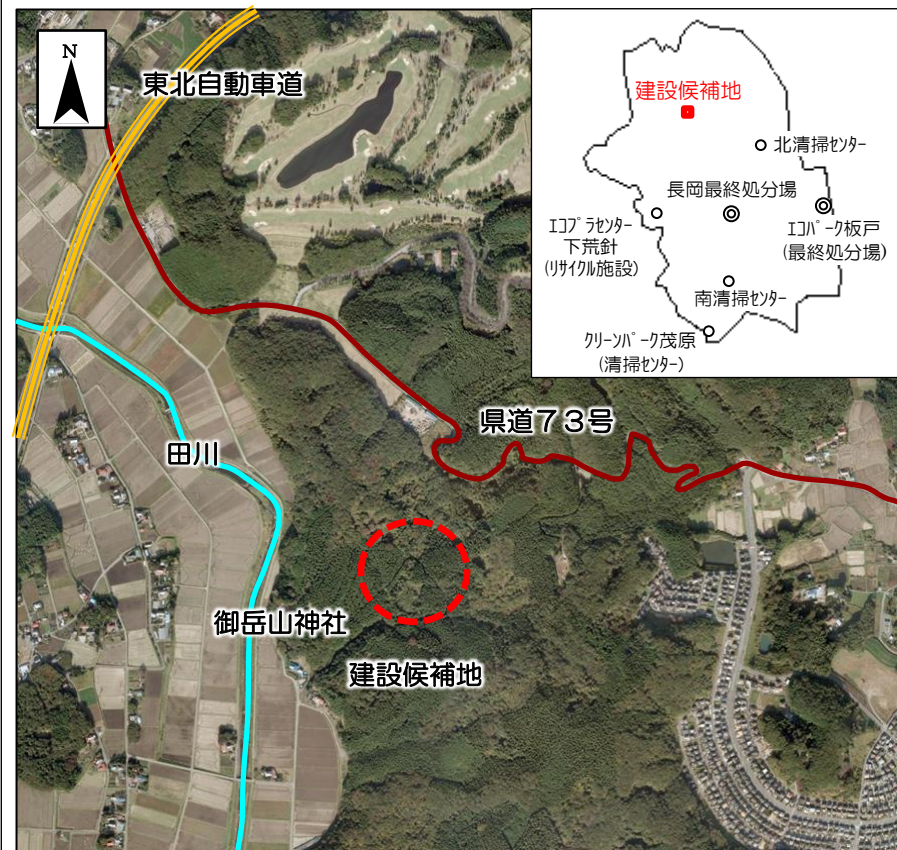
3 供用開始予定

平成31年度～

4 建設候補地の状況

宇都宮市下横倉町地内（富屋地区）

⇒ 四方を尾根、山林等に囲まれ、緩やかな斜面が広がり、北側には県道73号、西側には田川が所在



【建設候補地周辺の状況】

第2章 施設整備の基本条件

1 施設整備の基本方針

（仮称）第2エコパークの基本方針は以下のとおり

◆ 安全で安心な施設

- ・ 様々な技術や設備を効果的に導入
- ・ 埋立地を建物で覆うなどの最新の技術を導入
- ・ 市の責任による適正な管理と、透明性の高い施設運営

◆ 環境と共生する施設

- ・ 大気、水、身近な動植物等の生息・生育環境などに配慮
- ・ 再生可能エネルギーなどを利活用

◆ 地域と融和する施設

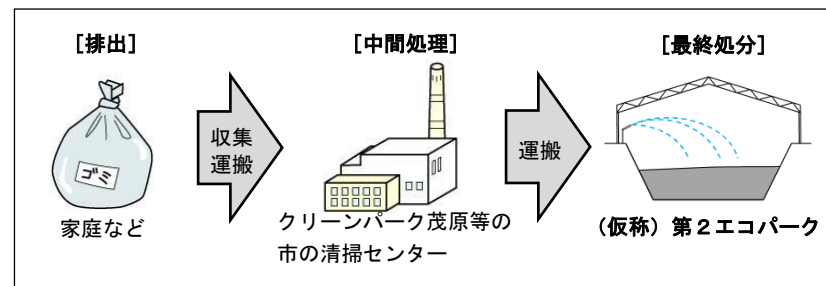
- ・ 周辺地域の景観との調和
- ・ 施設の積極的な開放

2 埋立計画

広域ごみ処理を行う宇都宮市と上三川町から発生する一般廃棄物を対象

項目	埋立計画
施設の種類	一般廃棄物最終処分場
埋立容量	約290,000m ³ *
埋立予定期間	15年間
埋立対象物	焼却灰、固化灰（ばいじん）、不燃残さ など
運搬車両	10tダンプトラック（専用車両）
車両台数	1日10台程度

※ 埋立容量 = 17,301m³（埋立対象物）× 15年
+ 27,000m³（最終覆土、保護土）
≒ 290,000m³

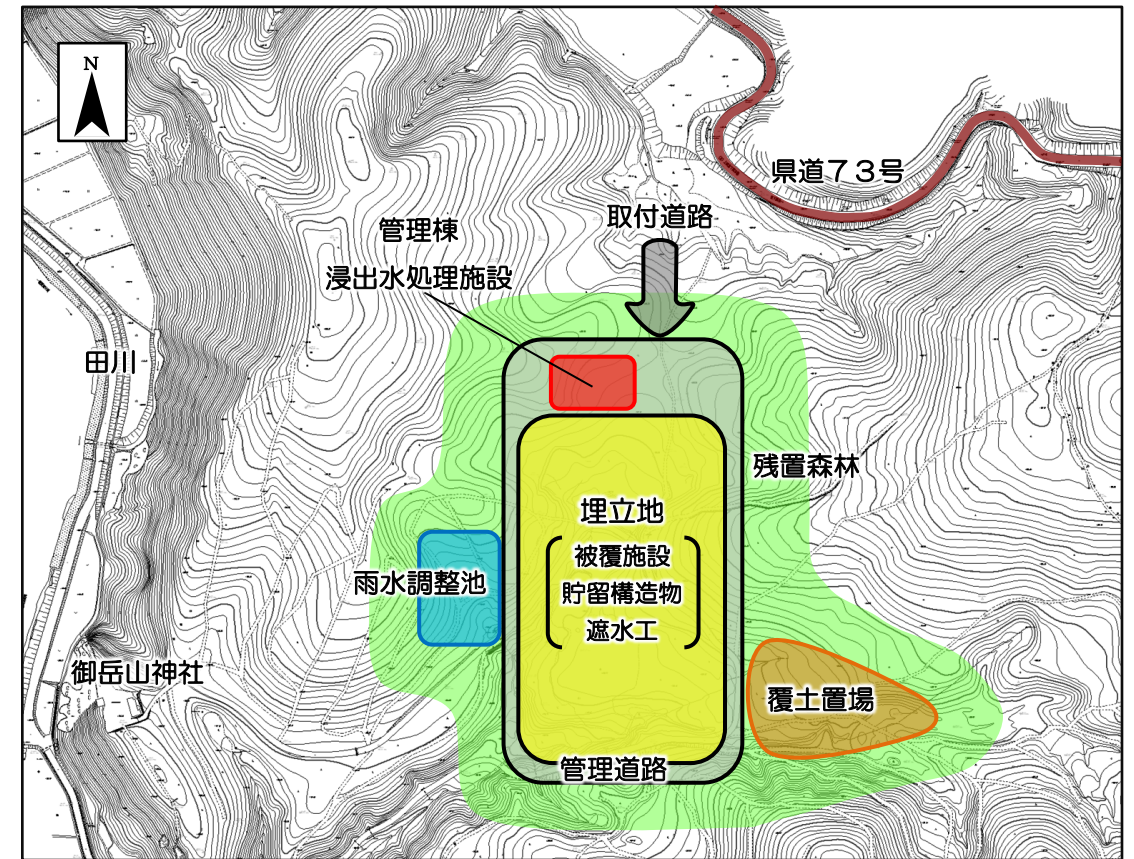


【最終処分までのフロー】

第3章 施設計画

1 施設配置計画

南北方向の緩やかな地形を利用して埋立地等を効率的に配置



【施設配置イメージ】

2 環境保全計画

周辺環境を保全するために、関係法令等に基づき環境保全計画値を設定

主な項目		環境保全計画値	関係法令等
大気質	浮遊粒子状物質	0.10mg/m ³ 以下（日平均値）かつ 0.20mg/m ³ 以下（1時間値）	環境基準 ^{※1} を適用
	二酸化窒素	0.04ppmから0.06ppm（日平均値） までの値、又はそれ以下	
水質	田川、雨水、候補地内沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ pH^{※2} : 6.5以上8.5以下 ・ BOD^{※3} : 2mg/L以下 ・ SS^{※4} : 25mg/L以下（全36項目） 	環境基準を適用

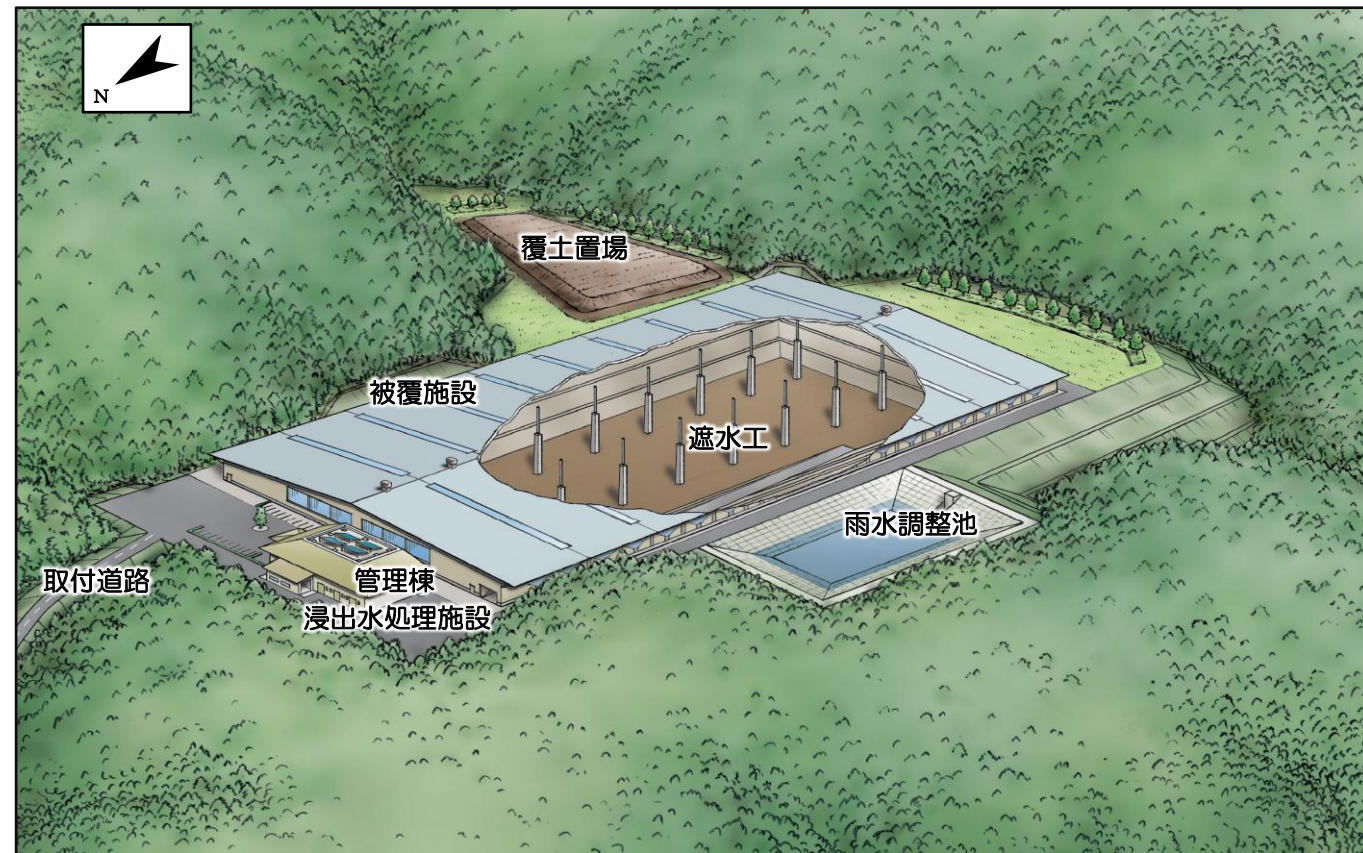
※1 環境基準：人の健康や生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準
 ※2 pH : 水素イオン濃度指数
 ※3 BOD : 生物化学的酸素要求量
 ※4 SS : 浮遊物質量
 } 水の汚れ具合や濁り具合等を表す指標

3 施設計画

- ・ 国の基準や指針等に基づき、適正な施設規模や安全性を考慮した構造等とすることを基本
- ・ 埋立地は、雨水の浸入や埋立物の飛散等の防止を図り、効果的、効率的な施設とするため、被覆型を採用

主な施設名称		規模や構造等
主要施設	被覆施設	構造 : 全体被覆方式 (埋立地全体を建物で覆う方式)
	埋立地 貯留構造物	構造 : 土構造 容量 : 約290,000m ³ (15年間分)
	遮水工	構造 : 二重の遮水シート, ベントナイト混合土*による遮水 設備 : 漏水検知システム
浸出水処理施設		能力 : 40m ³ /日程度 (人工散水により埋立物を計画的に安定化) 方式 : 凝集沈殿処理, 生物処理及び砂ろ過処理による方式 放流先 : 公共下水道に放流 (川田水再生センター又は河内水再生センター) ※放流ルート等については今後詳細に調査し選定
管理施設	管理棟	諸室 : 事務室, 研修室, 見学啓発コーナー等 設備 : 屋根に太陽光発電設備を設置 (事務室・浸出水処理施設等で利用)
	搬入管理施設	設備 : 計量設備等 (管理棟と一体で設置)
	環境監視施設	設備 : モニタリング井戸等
	管理道路	位置 : 埋立地外周等
関連施設	雨水調整池	容量 : 9,000m ³ 程度 放流先 : 農業用の水路
	取付道路	形式 : 2車線道路

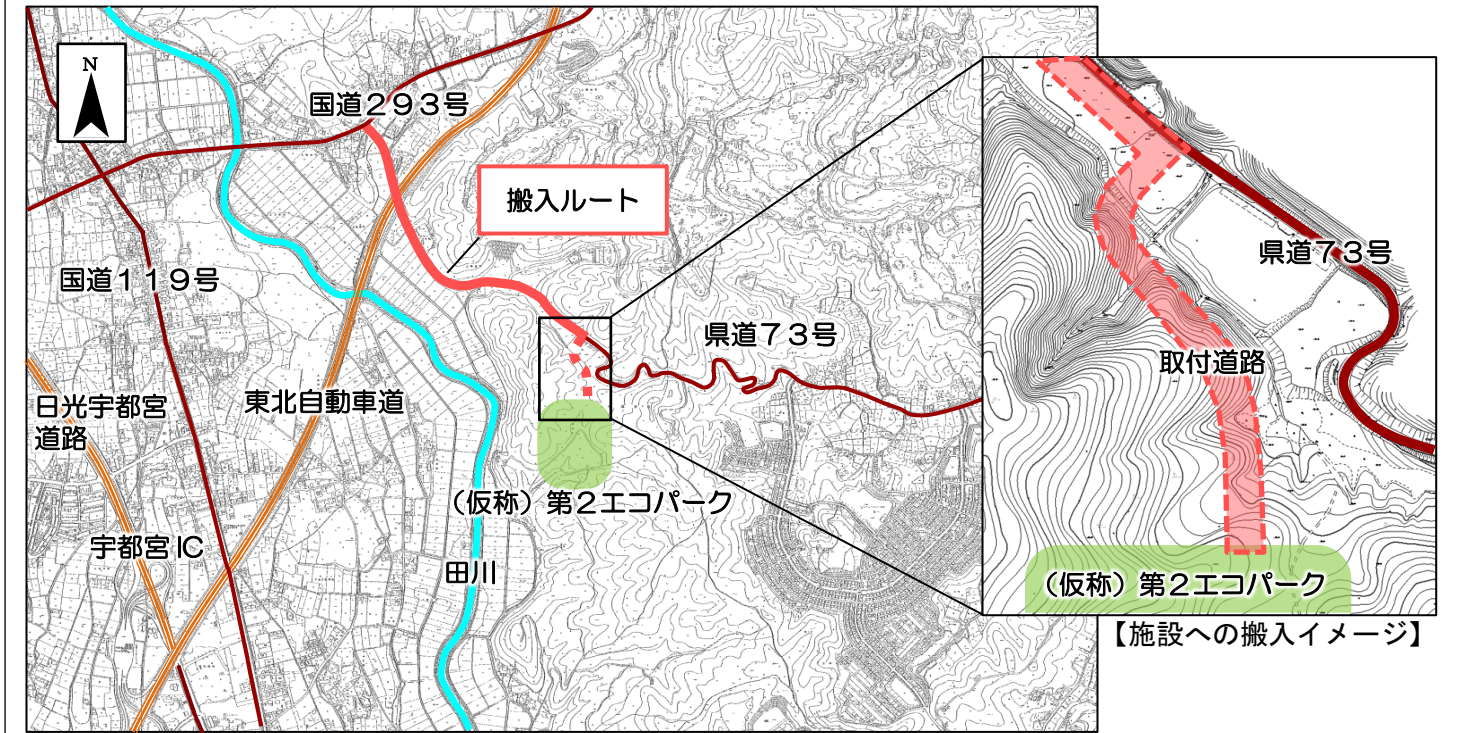
※ ベントナイト混合土: 粘土鉱物 (ベントナイト) と砂を混合させたもので、水を吸収し、浸透させにくい土



【(仮称) 第2エコパークイメージ】

4 搬入ルート計画

市清掃センターから既存の幹線道路を利用し、国道293号から県道73号に入り、施設に搬入



【搬入ルート】

第4章 事業計画

1 事業手法

「公設公営」(市が建設し、運転、維持管理を行う)

2 財政計画

国の交付金や起債を活用し、一般財源を抑制

(1) 循環型社会形成推進交付金

- ・ 交付対象事業の1/3 約21億円
※交付対象 被覆施設, 水処理施設等

(2) 起債

- ・ 交付対象事業分 約37億円
- ・ 交付対象外事業分 約12億円

施設整備費	約78億円
循環型社会形成推進交付金	約21億円
起債	約49億円
一般財源	約8億円

※ 用地費, 補償費は含まない。

3 施設整備スケジュール

平成31年度の供用開始を目標

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基本計画						
現地調査 (測量, 地質)						
環境影響調査						
基本設計, 用地測量等						
取付道路整備						
施設建設						
供用開始						